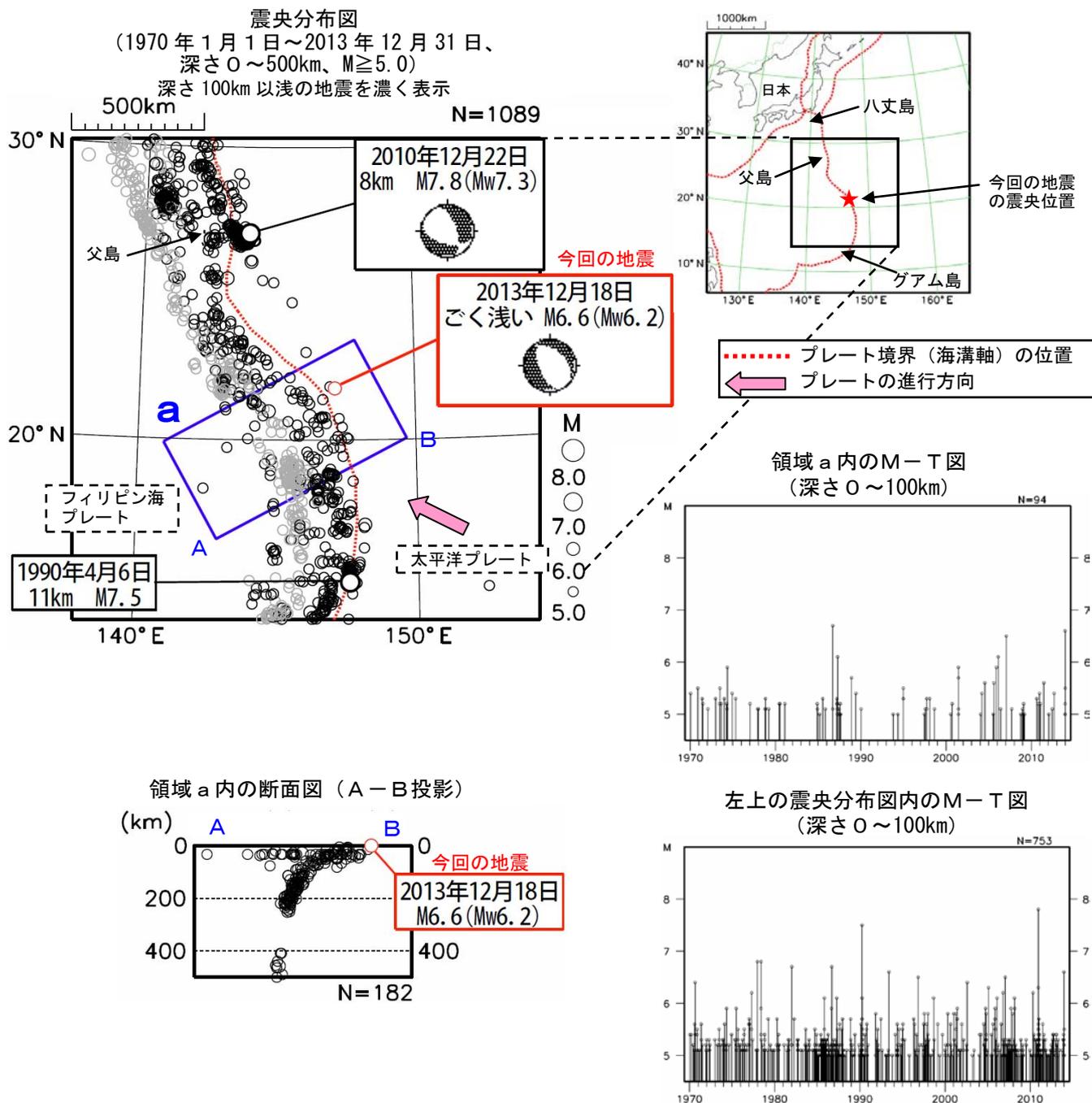


(その他の領域の地震)

## 12月18日 マリアナ諸島の地震

2013年12月18日08時38分(日本時間、以下同じ)に、マリアナ諸島のごく浅い場所でM6.6の地震(国内で震度1以上の観測なし)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は、北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型である。マリアナ諸島付近では、太平洋プレートがフィリピン海プレートの下に沈み込んでおり、今回の地震の震源はその境界にあたる海溝軸付近に位置している。

1970年1月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)の深さ100km以浅では、M6.0以上の地震が今回の地震を含め5回発生している。また、父島付近からグアム島付近にかけての海溝軸周辺(下の震央分布図の範囲)の深さ100km以浅では、M6.0以上の地震がしばしば発生し、2010年12月22日に父島近海で発生したM7.8の地震(国内最大震度4)では八丈島八重根で高さ0.5mの津波を観測している。



※本資料中、今回の地震および2010年12月22日の父島近海の地震(M7.8)の震源要素とCMT解は気象庁による。その他の震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2014年1月7日現在。ただし、2013年9月25日以降に未処理のデータがある)。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)\*より引用。

\*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.